

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	343	施策	地域医療体制の充実
管理事業	医療・薬事業	所管部局	健康医療部

1	所管 室課	保健医療総務室	事業名	医事・薬事事業		
事業概要						
医事・薬事						
活動実績		年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
医療法等各法令の規定に基づき、病院、診療所、助産所、歯科技工所、施術所、薬局、店舗販売業者、高度管理医療機器等販売業者、毒物劇物販売業者等に係る各種届出受付、許可等の事務を行った。 また、統計法に基づく各種統計調査を実施した。 薬と健康の週間や薬物乱用防止に関する啓発のために、市報への記事掲載や、クリアファイル・リーフレット等の作成・配布を行い、また、薬学実習生に対する薬物乱用防止講習会を開催した。		決算額 (千円)	1,629	1,297	1,662	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)	61.0	85.1	56.1	☐ 有効性 ■ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
医療機関や施術所等の各種許可や届出等受理件数 令和5年度 370件 令和6年度 412件 令和7年度 401件 薬局や店舗販売業者等の各種許可や届出等受理件数 令和5年度 1,278件 令和6年度 1,339件 令和7年度 1,203件 薬事関連啓発回数 令和5年度 76回 令和6年度 65回 令和7年度 73回		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画 の方向性・内容	
		国や府の動向を注視しつつ、申請や届出等のDXを進めていく必要がある。 啓発事業に関し、医薬品の過量摂取(オーバードーズ)が社会問題となっている。特に若年層に対し医薬品の適正使用の啓発に努めるとともに、医薬品販売事業者に対し、適正に販売を行っているか確認する必要がある。			継続	
					引き続き効率的な各種届出受付、許可等の事務に努める。	

2	所管 室課	保健医療総務室	事業名	保健所管理事業		
事業概要						
保健所管理						
活動実績		年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
保健所の設備管理・法定点検・警備・清掃等の業務を委託し、保健所運営のための光熱水費の支払いを行った。 保健所の設備等について、修繕等を行った。 令和5年度 施設管理委託料 10,183,117円 光熱水費 11,203,946円 施設修繕料（20件） 3,856,270円 令和6年度 施設管理委託料 9,284,512円 光熱水費 11,833,567円 施設修繕料（10件） 4,131,820円 令和7年度 施設管理委託料 10,436,872円 光熱水費 10,847,497円 施設修繕料（15件） 3,051,565円		決算額 （千円）	25,965	26,575	25,110	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率（%）	73.8	71.9	71.6	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ■ 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画 の方向性・内容	
		保健所の設備等について、建設から30年以上が経過して老朽化が進んでおり、毎年多額の修繕費を要している。 また、市民の相談でセンシティブな内容に対応するための相談室が不足するほか、事務スペースや倉庫、書庫も不足している中で、有事の際の保健医療調整本部機能を効果的に発揮できるスペースと設備を確保する必要がある。			継続 保健所施設については、「吹田市公共施設（一般建築物）個別施設計画」に基づき適切な時期に大規模改修を行っていく。	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	343	施策	地域医療体制の充実
管理事業	医療・薬事事業	所管部局	健康医療部

3	所管 室課	保健医療総務室	事業名	保健所業務管理システム事業			
事業概要							
生活衛生システム管理							
活動実績		年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点	
生活衛生システムの運用保守管理業務を委託した。また、令和7年度は当該システムに係るLGWAN-ASP対応改修業務を委託した。		決算額 (千円)	5,742	2,376	8,809	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割	
		一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	100.0	☐ 有効性 ☐ 効率性	
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
		特になし。				今後の実施計画 の方向性・内容	
						継続	

4	所管 室課	地域保健課	事業名	保健所業務管理システム事業			
事業概要							
医療費助成システム等の管理							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
法改正対応等にかかるシステム改修及び保守を実施した。			決算額 (千円)	8,769	16,518	6,378	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	86.5	55.5	93.6	☐ 有効性 ☐ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				☐ 公平性 ☒ 持続可能性
			国が求めるシステム標準化並びに医療DXへ対応するため、段階に応じた健康情報管理システムの改修及び他システムとの連携などが必要。 システムの更新やDX対応に応じた業務フローの見直しにマンパワーや専門性の高い職員の配置が必要。				今後の実施計画 の方向性・内容
							継続
							現行の業務プロセスを見直し、必要十分なシステム導入を目指す。

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	343	施策	地域医療体制の充実
管理事業	医療政策事業	所管部局	健康医療部

1	所管 室課	保健医療総務室	事業名	地域医療推進事業		
事業概要						
吹田市医療審議会運営、地域医療推進、豊能二次医療圏救急医療対策、吹田市保健所運営協議会運営、大阪府医療計画に関する懇話会等運営、災害時救急医療器具等整備事業等補助						
活動実績		年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
・吹田市保健所運営協議会、地域医療推進懇談会、救急メディカルコントロール協議会、薬事懇話会を開催した。 ・在宅医療について周知啓発する市民講演会を開催した。 ・豊能二次医療圏の重症患者を受け入れる医療機関に対し運営費を負担した。 ・令和7年度は、吹田市医療機関等物価高騰応援金交付関連経費（149,066,890円）を支出した。（全額国庫負担） （1）かかりつけ医等の定着促進や医療のかかり方等に関する啓発 かかりつけ医等の定着促進や医療のかかり方等に関するホームページやSNS等による啓発を実施。 （2）地域医療推進に関する講演会の開催数、参加者数 令和5年度…1回、当日参加者192人、YouTube視聴回数203回 令和6年度…1回、当日参加者136人、YouTube視聴回数195回 令和7年度…1回、当日参加者130人、YouTube視聴回数140回 （3）豊能二次医療圏救急医療対策事業の吹田市内の補助金対象病院における時間外受入患者数 令和5年度…9,343人、令和6年度…9,525人、令和7年度…9,362人 （4）物価高騰応援金交付件数 1,198件（交付金額 147,510千円）		決算額 （千円）	18,905	16,979	166,198	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率（%）	99.3	99.5	10.3	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画 の方向性・内容	
		豊能二次医療圏救急医療対策事業については、入院を必要とする重症患者を受け入れる二次救急医療機関の運営に対し、4市2町が共同で財政支援を行うことにより、二次救急医療体制の確保・整備が図られ、今後も継続した財政負担が必要。				
		継続			引き続き効果的な事業 実施ができるよう地域 医療の推進に努める。	

2	所管 室課	健康まちづくり室	事業名	地域医療推進事業		
事業概要						
豊能広域こども急病センター管理運営費負担						
活動実績		年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
豊能圏域（豊中市、池田市、吹田市、箕面市、豊能町、能勢町）における平日の夜間、日曜日、祝日、年末年始の小児一次救急診療を集約化した豊能広域こども急病センターの管理運営費用の収支差額（赤字部分）について、同4市2町で按分し、管理運営費負担金として支出している。 令和7年度は、インフルエンザの感染患者数が流行により増加したものの、全体としては前年度より受診患者数が減少し、医業収益が低下した。さらに、物価・人件費の高騰も重なり、管理運営費負担金の支出額が前年度に比べ増加した。 豊能広域こども急病センターの吹田市民の受診患者数 令和5年度 5,753人（全体：26,879人 本市構成比21.4%） 令和6年度 5,362人（全体：23,105人 本市構成比23.2%） 令和7年度 4,373人（全体：19,520人 本市構成比22.4%）		決算額 （千円）	3,317	21,862	35,584	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率（%）	100.0	100.0	100.0	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ■ 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
		同センターにおいて、市民病院等の二次 救急医療機関との機能分担体制が維持で きるよう、医師確保の支援等を含め、継 続的な財政支出が必要。				
		継続				
		引き続き効果的な事業 実施ができるよう地域 医療の推進に努める。				

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	343	施策	地域医療体制の充実
管理事業	医療政策事業	所管部局	健康医療部

3	所管 室課	健康まちづくり室	事業名	地方独立行政法人市立吹田市民病院関連事業			
事業概要							
地方独立行政法人市立吹田市民病院評価委員会運営、地方独立行政法人市立吹田市民病院運営費負担							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
・地方独立行政法人市立吹田市民病院評価委員会条例に基づき、前年度の業務実績の評価及び第4期中期目標・中期計画の策定に当たり、評価委員会を開催した。 ・地方独立行政法人法に基づき、高度特殊医療や救急医療の確保等に係る同病院の事業経費の一部を運営費負担金として支出した。なお同負担金については過年度精算により返還を受けている。			決算額 (千円)	1,301,357	1,087,908	1,116,686	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	100.0	☐ 有効性 ☐ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ■ 持続可能性	
(1) 市立吹田市民病院評価委員会開催状況 令和5年度 1回 令和6年度 1回 令和7年度 4回			同病院は、地域の中核病院として、採算ベースに乗らない救急医療や小児医療等の政策医療を担う重要な役割が求められており、安定的かつ継続的な医療提供を行うにあたり、運営費負担金による財政支出や計画的な医療機器更新への対応が必要。 また、同病院の資金確保のため、旧病院跡地の早期売却に向けて引き続き連携していくほか、独立行政法人化から10数年が経過したことを契機とする、効果検証の手法や時期についての検討が必要。				今後の実施計画 の方向性・内容
(2) 運営費負担金決定額 令和5年度 1,301,303,000円（令和6年度返還額 1,702,492円） 令和6年度 1,087,854,000円（令和7年度返還額 5,630,763円） 令和7年度 1,116,470,000円（令和8年度返還予定額 11,583,294円）							継続
							今後も安定的かつ継続的に政策医療を実施するため、医療情勢や社会環境を的確に捉えた、運営費負担金を含めた支援の在り方についての検討を重ねていく。

	所管 室課		事業名				
事業概要							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
			決算額 (千円)				※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)				☐ 有効性 ☐ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
						今後の実施計画 の方向性・内容	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	343	施策	地域医療体制の充実
管理事業	休日急病診療所事業	所管部局	健康医療部

1	所管 室課	健康まちづくり室	事業名	休日急病診療所事業		
事業概要						
休日急病診療所管理						
活動実績		年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日及び年末年始の昼間の急病患者に対する応急的な診療を吹田市医師会、吹田市歯科医師会及び吹田市薬剤師会への委託により実施した。診療科は、内科、小児科、外科、歯科の4診療科。 受診者数の減少による診療報酬の減少に伴い一般財源の比率が増加した。 企業版ふるさと納税（100,000円）を活用し、診療用照明灯の更新を行った結果、外科診療時における円滑で安全な診療環境の整備に寄与した。 ・年度別診療日数及び受診者数 令和5年度（診療日数73日間） 8,195人 令和6年度（診療日数72日間） 7,125人 令和7年度（診療日数73日間） 5,184人 ・新型コロナウイルス・インフルエンザウイルス検査人数 令和5年度 5,253人 令和6年度 4,135人 令和7年度 2,948人		決算額 （千円）	134,554	133,023	128,028	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率（%）	10.3	28.9	52.0	☐ 有効性 ■ 効率性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				☐ 公平性 ■ 持続可能性
		安定した事業運営のため、今後とも必要 最適な体制を確保していく必要がある。 また、国が進める医療DXの方針を踏ま え、必要となるシステムの導入等を行 いながら、事務の負担軽減や効率化を 図っていく必要がある。				今後の実施計画 の方向性・内容
						継続
						引き続き、事務の効率 化等を行いながら、初 期救急としての体制強 化を図る。

	所管 室課		事業名				
事業概要							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
			決算額 (千円)				※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)				☐ 有効性 ☐ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
						今後の実施計画 の方向性・内容	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	343	施策	地域医療体制の充実
管理事業	病院公債管理事業	所管部局	健康医療部

	所管 室課		事業名			
事業概要						
活動実績		年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
		決算額 (千円)				※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)				☐ 有効性 ☐ 効率性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
					今後の実施計画 の方向性・内容	

	所管 室課		事業名			
事業概要						
活動実績		年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
		決算額 (千円)				※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)				☐ 有効性 ☐ 効率性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
					今後の実施計画 の方向性・内容	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名
健康まちづくり室	元金償還事業（病院事業債管理特別会計）		
健康まちづくり室	利子償還事業（病院事業債管理特別会計）		